

エネルギー教育関連教材

教材名：「放射線測定ロガー・放射能鉱物標本」 No.18, No.22

領域・学年：理科・中学校3学年

単元：エネルギー利用の課題

目標：放射線測定器を利用して放射線量を測定する。

内容：

近年、メディア等を通じて放射線の危険性について報じられているが、その内容について正しく理解されていないことが懸念される。

前時の鉱物標本などを放射線測定器で測定すると同時に、様々な場所で測定を試み、身のまわりでも放射線が出ていることを確認した。

その後、報道でよく使われる線量の単位などについて学習した。そして、医療などで利用されている例を学ぶとともに、現在何が危険とされているのかを皆で考えることを試みた。

児童・生徒の感想：

- ・テレビなどでよく言われている放射線がどういうものなのか分かった気がした。
- ・良い利用と危険が隣り合わせでなんだか怖い気がした。しっかりとわかった上で利用しなければいけないのだと思った。
- ・いろいろなものから放射線が出ていることに驚いた。
- ・安全な場合、危険な場合についてよく調べてみたい。

